

医療機関 各位

日本新薬株式会社
学術部長 村地 和徳

「メキサンの代替薬に関して」

今般は弊社メキサン注（塩酸メトキサミン製剤）の供給停止に伴い、関係医療機関の皆様にご迷惑をお掛けします事を深くお詫び申し上げます。弊社はこれまで複数の麻酔科の先生方より代替品に関するご意見等を拝聴し、以下の2剤を代替品として考えております。ご不便をお掛けしますが何卒、諸事情ご賢察の程、宜しくお願い申し上げます。

1) ネオシネジンコーワ（塩酸フェニレフリン製剤）：メキサンと同様に高い $\alpha 1$ 選択性

販売元：興和創薬（株）

容量：日本薬局方 塩酸フェニレフリン 1mg または 5mg (1ml：水溶性注射剤)

効能効果：●各種疾患若しくは状態に伴う急性低血圧またはショック時の補助療法

●発作性上室頻拍 ●局所麻酔時の作用延長

用法：皮下投与、筋肉内投与、静脈内投与、点滴静脈内投与

使用例：（静脈内投与の場合）1mg 1アンプルを生理食塩水にて10～20倍に希釈し、患者の状態をモニターしながら1mlずつ投与する（50～100 μ g）。

備考：過去の文献においてノルアドレナリン0.01mg/kgと同等の昇圧効果を得るためにメキサン0.3mg/kg、ネオシネジン0.2mg/kgが必要であったとの報告がある¹⁾。また、ネオシネジン1mg静注では血圧上昇が約30分であるのに対し、メキサンで同程度の血圧を上昇させるのに3mgを要したとする報告もある。また、エフェドリンにより十分な昇圧が得られない場合、ネオシネジン（フェニレフリン）を20～40 μ g静脈内投与するとの用法を示した総説もある³⁾。

1) 米丸 寛ほか：日薬理誌,59, 1§ (1963)

2) 兵頭正義ほか：麻酔, 9(12), 979 (1960)

3) Morgan P. The role of vasopressor in the management of hypotension induced by spinal and epidural anaesthesia. Can. J. Anaesth. 1994; 41: 404-413.

詳細は添付文書等をご参照ください。

2) エフェドリン「ナガキ」（エフェドリン塩酸塩）：

β 作用はあるが、メキサン同様、作用が緩徐で持続する

販売元：大日本住友製薬(株)

容量：日本薬局方 エフェドリン塩酸塩 40mg (1ml：水溶性注射剤)

効能効果：●気管支喘息、喘息性気管支炎、感冒、急性気管支炎、肺結核、上気道炎に伴う咳嗽

●鼻粘膜の充血・腫脹 ●麻酔時の血圧降下

用法：皮下投与、筋肉内投与、静脈内投与（麻酔時）

使用例：日本麻酔科学会では次のような投与方法が推奨されている。

静脈内投与にあたっては、本剤1アンプル（40mg/ml）を9mlの生理食塩水と混合して計10ml（4mg/ml）とし、1回1～2ml（4～8mg）を緩徐に投与する。

備考：エフェドリンとメキサンの昇圧作用について直接比較した文献は見られない。

詳細は添付文書等をご参照ください。

以上